日刊建設新聞　平成28年2月16日(火)

加治金属工業に栄誉

とちぎ産業活力大賞で最優秀賞

加治金属工業（宇都宮市、加治康正代表取締役）が、県主催の「平成27年度とちぎ産業活力大賞」の最優秀賞を受賞し、このほど県公館で行われた表彰式で、福田富一知事から表彰状が授与された。このほか、優秀賞に大古精機（さくら市、大古秀子代表取締役社長）、特別賞にテツカクリエート（上三川町、鉢村高史代表取締役社長）、トーセン（矢板市、東泉清寿代表取締役）など6社がそれぞれ受賞した。

受賞者の一人は、「中小企業が元気にならなければ、本当の意味での地方創生と景気回復に繋がらない。今後も県の産業をけん引する気持ちでチャレンジする」と話していた。

とちぎ産業活力大賞は、県の産業の振興や地域経済、地域社会の活性化に大きく貢献した企業などを表彰し、その取り組みを広く紹介することで、県内の中小企業のチャレンジ意欲の喚起を図ることを目的に実施。2008年度から始まり、今年で8回目となる。今年度は、19件の応募の中から、有識者などによる審査委員会の選考を経て、最優秀賞2件、優秀賞（ものづくり部門）1件、優秀賞（商業・サービス部門）1件、特別賞3件をそれぞれ決定した。

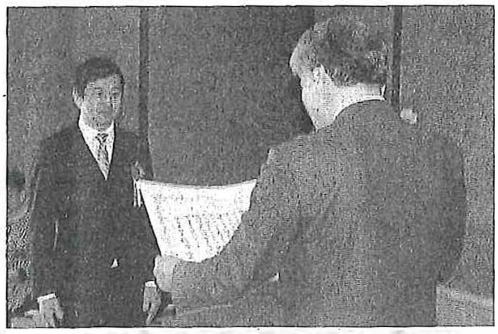
最優秀賞の加治金属工業は、航空機・同附属品などの製造を行う。表面処理加工技術を基盤として、切削加工からアッセンブリまで、独自の一貫生産システムや世界標準の品質保証体制の構築により、航空機産業を支える部品加工を行い、取引先である大手企業から高い評価を得ている。また、中小企業では国内初となる米国ボーイング社やフランスSAFRANグループとの直接契約など、海外からの受注にも積極的に取り組んでいる。

優秀賞（ものづくり部門）の大古精機は、精密測定機器（各種ゲージ、治工具、精密部品）の専門メーカーで、品質第一に強いこだわりを持つ。超精密加工による精度の高い製品の供給を実現して造し、ゲージメーカーのパイオニアとして大手企業から高い評価を得ている。一方、定年後の継続雇用制度と若手社員の国家資格取得奨励制度による、人材育成と技術力の維持向上への取組や、従業員の健康維持・増進を図る健康経営の積極的な導入のほか、地域社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

特別賞のテツカクリエートは、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）などの複合材料を中心とした航空機部品の製造・製品加工を数多く手がけ、軽さと強度を求める航空宇宙の分野に参入している。また、新規設備の導入で、精度や生産性の向上を実現し、安定的な製品の供給を実現している。県内唯一の複合材料試験片加工業者として、県内外での認知度を高めるとともに、各種研究開発機関との共同研究などで、新たな技術を開発し、県の複合材加工技術の競争力を高め、航空宇宙や自動車産業分野の発展に貢献している。

同じく特別賞のトーセンは、母船式木流システムという独自のシステムの確立で、国産材製品の一元管理を行い、品質の安定化と供給拡大を図る。廃校跡地を利用し、製材工場の建設と関連会社による発電施設を建設し、バイオマス発電事業にも取り組み、森林資源の有効利用を図るとともに、地域雇用の促進や地域経済の活性化にも積極的に取り組んでいる。

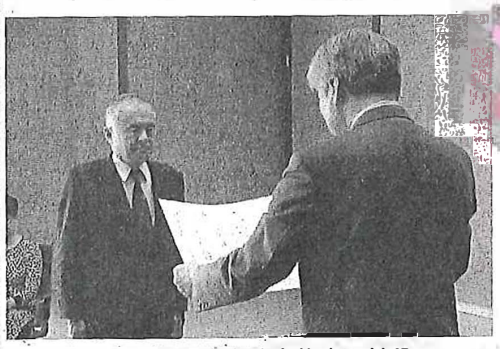
福田知事は、「優れた技術と取り組みで、県の産業の振興と地域経済、地域社会の活性化に多大な貢献をされた」と各社の業績を称えた。また、「受賞者の取り組みが小企業の参考となり、技術の開発など、大きな契機に繋がればいいと考えている。県は、『とち



加治金属工業の加治康正代表取締役

大古精機の大古秀子代表取締役社長

テツカクリエートの鉢村高史代表取締役社長



トーセンの東泉清寿代表取締役

大東建託

ハードとソフト面で進化

新住宅ブランドを立上げ

大東建託（東京都港区、熊切直美代表取締役社長執行役員）はこのほど、賃貸住宅を総称したブランド「DK SELECT（ディーケーセレクト）」を立ち上げた。多様化する顧客のニーズに対して、賃貸住宅を耐震性、耐火性などのハード面と緊急トラブル対応、更新料、クレジット決済などのソフト面の両面で進化させる。これまで同社が個別に展開してきた商品・サービスに新たな価値を加え、一つのブランドのもとで提供する。

同社はこれまで、一貫して賃貸建物経営を中心に事業を展開し、賃貸住宅界の中でこれまでに住まい・サービスを提供してきた。しかし現在、顧客のライフスタイルが多様化し、住まいや暮らしに求められる役割や価値観も変化してきて